



## 弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>


弓削高生、「仕事」作ってます

## 「ゆめしま」就航式演奏！

9月26日に生名フェリー「ゆめしま」の就航式で音楽部が演奏を行いました。練習してきたテープカット時のファンファーレと、出航に合わせたアンダーザシーを演奏し、就航式を盛り上げました。「船の上で風を感じながら演奏するアンダーザシーはとても気持ち良かったです」と部長の藤田さんが話してくれました。次は11月の高文祭での大三島分校、伯方分校との合同演奏に向けて練習を重ねていきます。



## ビジネスプラン着々と

起業の会はビジネスプランコンテストへの応募が終わり、結果を待っているグループもあります。チーム「いわぎっ子」はリサイクルを中心としたビジネスプランを立てました。「大変だったが、プランがまとまっていく過程が楽しかった」と2年の渡部さんが話してくれました。



## 仕事づくり学ぶ（2年総探）

東京証券取引起業家育成プログラムを活用し、株式会社の仕組みや事業計画の考え方について学んでいます。今回は考えてきたビジネスモデルを発表しました。形になるのが楽しみです。



## 島親募集！

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021

弓削高校 教頭 渡邊



## 次世代の担い手を育て、持続可能な上島町をめざして

教育課

こんにちは、教育課課長の梨木です。

教育課の事務所は、旧佐島小学校校舎の2階にあり、学校教育・社会教育・文化財保護の3つの柱で生涯学習を推進しています。学校施設の整備や、それぞれの地域にある体育館やグラウンド、公民館での活動の支援など、町民の皆さんの生涯学習の機会を広げられるよう取り組んでおります。

今年度は新型コロナウイルスの影響で行事は縮小せざるを得なくなりましたが、運動会や駅伝、地域ふれあい学習会など、教育課は地域の皆さんと共に動き共に学ぶ課です。

現在上島町では、全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなっています。地域においては、子ども見守り活動や、上島子ども体験教室の実施など地域学校協働活動も推進しているところです。コミュニティ・スクールは、従来の地域住民による学校への「支援」という一方的な取組みとは違い、地域と学校がパートナーシップに基づき「連携・協働」し合うことです。今の学校や社会が直面している多様な課題に対応し、子ど



もたちの豊かな成長を支えるためには、学校と地域住民が目標を共有して、様々な世代が交流を深め、高齢者がいきいきと活躍し、社会総掛かりでの教育を推進することが求められています。

地域学校協働活動は、人と人をつなぎ、地域と地域をつなぎ、過去と未来をつなぎ、自分たちの住む地域・上島町を大切に思うことにつながります。自立した持続可能な上島町であるためには、それぞれの学校と地域住民が手を取り合って課題に取り組むことが大切です。次世代の担い手を育て、地域を持続させていくために、今後も地域学校協働活動を推進していきたいと考えておりますので、地域の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



## 弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>

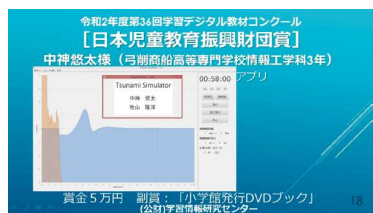

「津波アプリ」で全国コンクール上位入賞

## 「津波アプリ」で企業賞を受賞

情報工学科4年中神悠太さんが「第36回学習デジタル教材コンクール」において企業賞の「日本児童教育振興財団賞」を受賞しました。

中神さん（応募当時3年生）はアプリの実装を、牧山指導教員は海底地形データ作成・授業実践をそれぞれ担当し「津波シミュレーションアプリ」が見事受賞しました。

9月22日（火）に東京で表彰式が行われWeb参加で出席し、賞状・副賞が授与されました。



## 学生相談室が学生をサポート

今年度は新型コロナウイルス感染症によって遠隔授業を行っております。学生相談室では遠隔授業が始まると同時に学生全員に対し本校のカウンセラーからオンラインで連絡を取り、心の健康を維持するための状況確認や助言を行いました。学生と少しでもつながりを保ち、ストレスを和らげるサポートに努めています。

また本校HPには学生相談室のページがあり外出自粛期間中の過ごし方やストレス対処法を紹介するコラムやお便りを随時更新しております。

学生相談室のコラム  
ぜひ読んでみてください♪



## 「海事教室」開催

9月16日（水）から3日間にわたり尾道市内4校210名の小学生を対象に「海事教室」を開催しました。

環境学習、体験学習、船に関する講義の3つに分けて実施され、ロープワークやiPadを活用した弓削丸VR体験などが行われました。小学生にも分かりやすい講座を心掛け、本校の教育や特色などを伝える機会となりました。



## 島おこし協力隊活動報告

## 非日常から日常へ

こんにちは。ゆめしま未来塾の中裏です。今年も早いものであと2ヶ月となりました。今年は年明けからなんだか落ち着かない事ばかり。非日常だった事が日常になるようとしています。

さて、この島おこし協力隊の活動報告に数ヶ月に一度登場させていただいていた私ですが、実は今回の記事が最後の投稿となります。10月末で任期が満了し、島おこし協力隊を卒業することとなりました。島おこし協力隊としての活動は10月で終わりになりますが、役場のみなさまの計らいで年度末の3月までは公営塾の講師として活動して参ります。

個人的な話になりますが、4月以降は弓削島の下弓削地区にて小

中学生を対象にした塾を開校し、引き続き地域に密着し子どもたちのために活動しようと考え、現在準備中です！

古巣になる公営塾ゆめしま未来塾はと言いますと、来年度以降も講師が入替わりながらも運営を続けていきます。温故知新でこれまで築いたものを大事にしつつ、新しい風を吹かせながらその時代にあった指導を実施していきます。何卒これまでと変わらぬご支援とご声援をいただければ幸いです。

3年前にこの地に足を踏み入れたときはこの町の全てが非日常でした。しかし、地域のみなさまからのお支えのおかげでなんとか協力隊としての3年間を走り抜く事ができ、あのとき感じていた非日



一番好きな学校からの風景

は今や日常となることができました。まだまだこの町で活動予定となっておりますので、また町で見かけたときは気軽にお声がけください。3年間本当にありがとうございました！それでは！

島おこし協力隊  
中裏 修平